第 12 章
公共交通の変遷

（1）豊後大野市のバス・タクシー

豊後大野市では現在、民間バス会社の大野竹田バスと、市が運営するコミュニティバスが運行されています。当初は、大分バスにより運行されていましたが、利用者の減少と路線の維持困難を背景に、平成 22（2010）年、大分バスから大野竹田バスへと路線が継承され、地域に根ざした運行を継続しています。

また、昭和 46（1971）年から、旧町村では町営バスや福祉バスの運行が開始され、平成 17（2005）年、豊後大野市の発足にともない、各町のバスが市営の「豊後大野市コミュニティバス」として一本化され、今日まで運行されています。

少子高齢化や車の普及による公共交通利用者減少、運転士不足などの課題の中で、コミュニティバスの運行維持に加え、オンデマンド型の乗合タクシーといった新しい形態の検討・導入等、地域公共交通の確保・再編に向け、取り組んでいます。

【大分バス】

大正2（1913）年 11月10日
　大分市でタクシー業を営んでいた佐藤垣彦氏が、大分バス株式会社を設立、大分県下を統合

昭和20（1945）年 1月24日
　竹田～三重、三重～白山、三重～大野、三重～千歳間の運行開始

昭和25（1950）年 7月13日
　三重～大白谷間の運行開始

昭和27（1952）年 9月18日
　三重～犬飼の運行開始

昭和35（1960）年 11月17日
　三重～小倉木間の運行開始

昭和 63（1988）年 5 月 20 日
　大分バスから独立する形で、大野交通設立

平成 22（2010）年 10 月 1 日
　大野竹田バスへ路線継承

【大野竹田バス】

平成22（2010）年 10月1日
　大野交通と竹田交通が合併
　大野竹田バス株式会社が設立

平成29（2017）年 9月30日
　竹田大分線の運行廃止

平成29（2017）年 10月1日
　代替交通手段として、コミュニティバス「大野犬飼線」の実証運行開始

令和3（2021）年 10月
　ラッピングバスの運行実施
　学生限定乗り放題定期「ジモテキ」運用開始



ラッピングバス

令和5（2023）年 4月1日
　臼杵、豊後大野、竹田の3市でゾーン制運賃の導入

【コミュニティバス・あいのりタクシー及びコミタク】

昭和46（1971）年 11月1日
　緒方町で、大分バスの上畑・尾平間の運行廃止に伴い、町営バス（過疎バス）の運行開始

平成15（2003）年 6月
　緒方町の町営バスを廃止、コミュニティバスとして運行を継続

平成15（2003）年 8月
　朝地町福祉バスの運行開始

平成16（2004）年 4月
　清川町コミュニティバスの運行開始
平成16（2004）年 5月
　大野町福祉バスの運行開始
平成17（2005）年 3月
　5町2村の合併により、豊後大野市発足
　旧自治体ごとの路線を引き継ぎながら、豊後大野市コミュニティバスとして一本化
平成24（2012）年 1月
　市全域でコミュニティバスの運行開始


コミュニティバスの車両

　デマンド交通である豊後大野市あいのりタクシーの運行開始（三重町、清川町の一部）


あいのりタクシーの車両

平成26（2014）年 4月
　あいのりタクシー清川町での運行拡大、運行時間の拡大
令和5（2023）年 4月
　あいのりタクシー緒方町での運行開始
令和7（2025）年 3月
　ＡＩオンデマンド交通であるコミタクの実証運行開始（千歳町及び清川町の一部）



コミタクの車両

（2）豊後大野市の鉄道

豊後大野市を通るＪＲ九州旅客鉄道の豊肥本線は、当初は大分側から「犬飼軽便線」、熊本側から「宮地軽便線」として建設が進められました。大正６（1917）年から順次延伸し、昭和３（1928）年には熊本側の路線とつながり、豊肥本線が全線開通しました。豊肥本線は現在も運行され、令和７（2025）年３月29日には、市とＪＲ九州旅客鉄道で包括連携協定を締結し、相互に連携・協力して、公共交通利便性の向上及びまちの魅力向上に取り組んでいます。

大正6（1917）年7月20日
　犬飼軽便線犬飼駅が開業
　竹中駅～犬飼駅間が開通
大正10（1921）年3月27日
　犬飼軽便線菅尾駅、三重町駅が開業
　犬飼駅～菅尾駅～三重町駅間が開通
大正11（1922）年11月23日
　犬飼線緒方駅、牧口駅（後の豊後清川駅）が開業
　三重町駅～緒方駅間が開通
大正12（1923）年12月20日
　犬飼線朝地駅が開業
　緒方駅～朝地駅間が開通
大正13（1924）年10月15日
　犬飼線豊後竹田駅が開業
　朝地駅～豊後竹田駅が開通
昭和3（1928）年12月2日
　玉来駅～宮地駅間が開通し熊本駅～大分駅間が全通
　犬飼線、宮地線を合わせ「豊肥本線」へ改称
昭和62（1987）年4月1日
　国鉄分割民営化により、国鉄からJR九州が豊肥本線を継承
平成8（1996）年3月16日
　大分駅～豊後竹田駅間でワンマン運行開始
平成16（2004）年3月13日
　九州横断特急の運行開始（三重町駅停車）
平成28（2016）年12月22日
　ＪＲ九州アプリでの全線リアルタイム列車位置情報の配信開始
令和5（2023）年6月
　三重町駅前広場の整備完了
令和7（2025）年3月
　JR九州旅客鉄道と豊後大野市、包括連携協定を締結



三重町駅改修完了（令和 5(2023) 年）



観光交流センターオープン（令和 7(2025) 年 2 月）